

【3. 拠点都市の機能高度化】

市街地再開発事業(栄・常盤地区)^{さかえ・ときわ}

～にぎわいのある中心市街地の整備～

1. 概要

本地区は、日本一長いアーケード街を中心とした商店街のほか、公共・公益施設や多数の観光・文化・スポーツ施設等の都市機能が密度高く集積していますが、郊外部への商業施設の立地や住宅開発の進展にともない、商店街の空洞化が進んでいます。

本事業の実施により、商店街の活性化、新たな魅力あるまちづくり、都市型住宅の創出による定住化を図ります。

事業主体： 栄・常盤地区市街地再開発組合

場 所： 長崎県佐世保市栄町、常盤町

諸 元： 地区面積：約0.9ha

平成19年度 継続

事業着手

平成 17 年度

完成予定

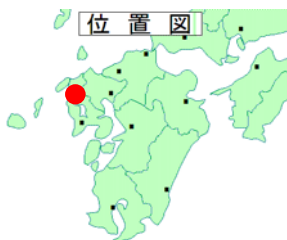
平成 21 年度

進捗率(H20, 3見込み)

約49%

全体事業費

約 8,400百万円



2. 平成19年度の整備内容

建築設計、建築物除却、仮設店舗等設置、共同施設整備等

3. 整備効果

都市機能の更新とにぎわい空間の創出